

発行：野洲図書館

(野洲市辻町410番地)

tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>  
 野洲図書館のホームページから「YAのページ」が見られます。司書のつづやきなど更新中。あそびにきてね♪

# やすど!

## Yasu-dokusyo-CLUB

今号の内容は…

★表紙の1冊 ★司書のオススメ ★新しく入った本 デス

野洲図書館のホームページはこちら→→



### 表紙の1冊

最高の3年間を、君と。



## 『飛び立つ君の背を見上げる』

武田綾乃／著 宝島社 913/97



吹奏楽部の副部長を務めた中川夏紀は、卒業を前に、同じ3年生の仲間たちと過ごした学校生活を思い返していた。中学の吹奏楽部時代、部長で人気者だった、希美。天才肌で少し不思議な雰囲気のみぞれ。そして北宇治高校吹奏楽部の部長として夏紀とともにすべてを出し尽くした、優子。仲間を思ううち、夏紀は自分に対しても向き合い始める。人気シリーズ『響け！ユーフォニアム』の-spin-off作品。

◆受験が終わって卒業式を待つ、あの期間。たった1週間かそこらのはずですが、あの特別な感情が鮮明によみがえってきました。「代替品がそこらじゅうにあふれている」という歌詞と自分を重ね合わせてきた夏紀に、優子がかけた言葉。そうした大切な答えを見つけるために、あの1週間は存在するのだろうかと感じます。シリーズのファン、卒業を経験してきた人、誰の心にも響く1冊です。(ざ)

「響け！ユーフォニアム」  
とは？



吹奏楽の強豪校だった北宇治高校に入学した久美子と部員たちが織り成す青春・部活ストーリー。何度もアニメ化・映画化され、舞台となった京都へ足を運ぶファンも多い。

『響け！ユーフォニアム』武田綾乃／著 宝島社 B913.6/97



# 司書のオススメ



YA担当司書からのオススメです♪

## 『レイの世界 1』

時雨沢恵一／著 ドワンゴ 913.6/77



ユキノ・レイは女優と歌手を目指して、有栖川芸能事務所に所属する15歳の女の子。事務所の女社長に言われて初仕事にマネージャーの因幡と向かう。その仕事は、とある小さな町の音楽イベントを歌で盛り上げることだった。初ステージに緊張しつつも気合十分で臨んだレイは、用意していた歌も歌い切り、アンコールにも応えて精一杯盛り上げた。レイのステージがクライマックスになり会場の空気も最高潮に達した時、一瞬で世界が真っ赤になって……。

◆『キノの旅』を書かれている時雨沢恵一さんの新シリーズ！頑張り屋なレイちゃんがとにかくカワイイ！因幡に連れられていろんな場所で歌と演技を披露します。それは彼女にしかできない仕事であり、因幡や女社長も経験を積んでいく彼女を大切に考えているのが感じ取れます。なんと！この作品は黒星紅白さんのイラストが先に描かれてから、できたお話なのです。(よ)

## 『ダリウスは今日も生きづらい』

アディーブ・コラーム／著 三辺律子／訳 集英社 933.7/37



ダリウス・ケルナーはペルシア系アメリカ人の高校2年生で、イラン出身の母シーリーンとアメリカ人の父スティーヴン、小学2年生の妹ラレーの4人家族である。ダリウスは、うつ病の薬を飲んでいて学校に馴染めていないこともあり、父に必要以上に心配されている。学校にも家にも息苦しさを感じていた。ある日、母親の実家の祖父が重い病気にかかったと知らせを受け、家族全員でイランへ行くことになる。そこで年の近い男の子ソフラーブと出会う。

◆理解されにくい病気を持ち、他の人と見た目が違うことでからかわれるダリウスは、アメリカでの生活が本当に窮屈そうです。イランでは文化や言葉の違いに戸惑い、生活の大変さはあまり変わりません。しかし、イランの祖父母やソフラーブがかけてくれる言葉は温かく、ダリウスも読んでいる私も幸せな気分になれます。(よ)

## 『僕が答える君の謎解き 明神凜音は間違えない』

紙城境介／著 星海社 913.6/か



教室には通わずカウンセリングルームへ登校している明神凜音は、“謎の答えがすぐに解ってしまう体質”である。しかし、その答えに到った推理が無意識下で行われているため、彼女自身にはその答えしか解らない。彼女のクラスメイトである伊呂波透矢は、彼女の姉に凜音の教室復帰を任されるが、「推定無罪—疑わしきは罰せず」が信条のため、根拠を示さない凜音の推理を認められない。そこで透矢は、彼女の推理を推理することで彼女との距離を縮めていく。

◆凜音の考えを理解しようとして、その心に寄り添う形となった透矢と、自分の話を聞いてくれる人が現れた凜音。カウンセリングルームに持ち込まれた謎を推理していく中で二人の関係は進展していくが、その距離感がもどかしい。そんなラブコメとミステリーの融合作です。(い)

## 『貴サークルは“救世主”に配置されました』

小田一文／著 SBクリエイティブ(GA文庫) B913.6/あ

売れない同人作家の「星夜騎士(スターナイト)」。販売会で大量に余った在庫を撤収していた時、目の前に美少女が現れる。「ずっと、あなたを探していました」。時守緋芽を名乗る彼女は、世界を救うため、未来からやってきたのだと言う。世界を滅ぼす魔王の誕生を阻止するための条件、それは「冬コミ」で「新刊一〇〇部」を完売させること—！？

◆自分の同人誌が100部売れなければ、世界が滅びます。えー！重いよー！！どうしてそうなるのと突っ込みたくもなりますが、なんと……そういうことでしたか。好きなものを仲間たちと熱く語り合う販売会やイベントが、コロナのせいで奪われる昨今。「想いを形にする」その行為に全霊を注ぐナイトと、「愛が溢れる」その場所を守るために戦う緋芽の姿は、今まさに胸に刺さると思います。(ざ)



## 『詩人になりたいわたしX』

エリザベス・アセヴェド／著 小学館 K933/アセ






シオドラの家族はカトリック教徒。でも、教会や母親からこう言われた時、シオドラは自分の中にたまっていたものが、いっぱいいっぱいになってあふれそうになる。「女の子はいけません。いけません。いけません」。「待ちなさい。やめなさい。言うことを聞きなさい」。シオドラは、行き場のない思いを詩にします。詩を書いたノートはシオドラの宝物。そのノートを、母親は燃やすのです。シオドラが男の子とデートしていたからといって。

あまりにも価値観が違う母と娘。歩み寄り手段は、意外にも、それぞれにとって一番身近なものでした。

◆聖書の詩を唱えながらノートを燃やす母親に対し、自分の詩を叫んで抵抗するシオドラ。二人の詩の応酬に、鳥肌が立ちました。(ち)

# NEW ARRIVALS

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル		著者	出版社
どうして、わたしはわたしなの? →		トミ・ウケラー／著	現代書館
わたしは大統領の奴隷だった		エリカ・アムストロング・ダグバ／著	汐文社
女の子はどう生きるか		上野 千鶴子／著	岩波書店
学校、行かなきゃいけないの?		雨宮 処凛／著	河出書房新社
小学校教諭になるには		森川 輝紀／編著	ペリかん社
もしも、地球からアレがなくなったら?		渡邊 克晃／著	文友舎
ティーンズ・ボディーブック		北村 邦夫／著	中央公論新社
なんで洞窟に壁画を描いたの?		五十嵐 ジャンヌ／著	新泉社
ソードアート・オンライン abec 画集		abec／著	KADOKAWA
部活で差がつく! 勝つテニス最強のポイント 50		矢崎 篤／監修	メイツ出版
自分を励ます英語名言 101		小池 直己／著	岩波書店
怪盗ルパンさまよう死神		モーリス・ルパン／作	理論社
地底アパートの最後の訪問者		蒼月 海里／著	ポプラ社
文豪ストレイドッグス STORM BRINGER		朝霧 カフカ／著	KADOKAWA
86-エイティシックス- Ep. 9		安里 アサト／著	KADOKAWA
ヨンケイ!!		天沢 夏月／著	ポプラ社
夜叉神川		安東 みきえ／著	講談社
ようこそ実力至上主義の教室へ 2年生編 4 →		衣笠 彰梧／著	KADOKAWA
<Infinite Dendrogram>-インフィニット・デンドログラム- 15		海道 左近／著	ヒュー・ジャパン
継母の連れ子が元カノだった 6		紙城 境介／著	KADOKAWA
キグナスの乙女たち		佐島 勤／著	KADOKAWA
つるぎのかなた 4		渋谷 瑞也／著	KADOKAWA
ひげを剃る。そして女子高生を拾う。Each Stories		しめさば／著	KADOKAWA
りゅうおうのおしごと! 14		白鳥 士郎／著	SBクリエイティブ
ログ・ホライズン 外伝		池島 良一／著	KADOKAWA
声優ラジオのウラオモテ #04		二月 公／著	KADOKAWA
七冊の『神曲』が断罪する七人のダンテ		野村 美月／著	KADOKAWA
アイドルがアイドルに恋しちゃだめですか?		HoneyWorks／原案	KADOKAWA
薬屋のひとりごと 10		日向 夏／著	主婦の友社
ホヅミ先生と茉莉くんと。 Day. 1	葉月 文／著	KADOKAWA	
彼女は僕の「顔」を知らない。		古宮 九時／著	KADOKAWA
強制終了、いつか再起動 →		吉野 万理子／著	講談社
夜に駆ける		星野 舞夜／著	双葉社
きみのいた森で		ピート・ハutmán／作	評論社
見知らぬ友		マルセロ・ビルマール／著	福音館書店

編集後記：◆貴重な男子メンバーでありました(よ)くんと(い)くんは、今号で「やすど!」を卒業となります。新年度からはまた新しいメンバーで「やすど!」をお届けしますので、どうぞよろしくお願ひします★(ざ)◆鬼滅とシン・エヴァの陰に隠れて、好きな作品の劇場版が公開されていることに気づくのが遅れました。それでもレイトショーで間に合う…。これが大人の力か。(よ)◆友達に借りていた本を返し、貸していたCDが返ってきましたが、お互いに貸していたことを忘れていて思わず笑い合いました。(い)◆タイヤがパンクしました。一人、夜の沈丁花の匂いをかぎながらレッカーを待ちました。(ち)